

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和8年度 第1回福津市ひとり暮らし高齢者等見守り協議会運営委員会
開催日時		令和8年7月8日（水） 13：30～14：30
開催場所		福津市役所 庁議室
委員名		出席委員 中島 浩 会長、松原 秀治 副会長 青谷 勇 委員、畑 由紀 委員、高杉 正 委員 近藤 ヨウ子 委員、占部 克明 委員、千原 喬 委員
所管課職員 職氏名		高齢者サービス課 桑野課長 高齢者福祉係 野中係長、吉村 商工観光課 商工振興係 西
会 議	議 題 （内容）	1. 辞令交付 2. ひとり暮らし高齢者等見守り協議会研修会について 3. その他
	公開・ 非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非公開の理由	—
	傍聴者の数	0名
	資料の名称	・ひとり暮らし高齢者等見守り協議会 運営委員会次第 ・資料1 ひとり暮らし高齢者等見守り協議会活動内容について ・資料2 「見守りネットふくおか」について ・資料3 地域の見守り活動連絡網 ・資料4 令和8年度ひとり暮らし高齢者等見守り協議会について ・令和8年度福津市ひとり暮らし高齢者等見守り協議会運営委員名簿
会議録の作成方針		☒ 録音テープを使用した要点記録 記録内容の確認方法 会長に確認
その他の必要事項		

審議内容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

○協議の内容等

①12月開催予定の「啓発研修会」について

＜テーマの選定＞

昨年好評だった「特殊詐欺」に加え、近年全国的に深刻化している「強盗（闇バイト関連）」への対策を盛り込む。九州や近隣自治体でも不審車両や強盗予備軍の事案が発生しており、他人事ではないとの認識が共有された。

＜講師および構成＞

メイン講師として、民間警備会社（株式会社にしけい）に防犯設備や民間目線での特殊詐欺等の対策についての講話を依頼する。警察からも最新の手口（国際電話を利用した詐欺など）や防犯パトロールの重要性について、15分程度の講話を行う方向で調整する。

＜研修会の周知方法（案内先）＞

例年通り、民生委員、郷づくり、自治会長への回覧（配布物封入）を実施する。今年度は新たな試みとして、一般市民へ幅広く周知するため、市の公式LINE等による案内も検討する。

＜次年度の検討テーマ＞

・終活（エンディング）

ひとり暮らしの高齢者が亡くなった際の葬儀費用、相続、身の振り方など（JA等による講話案）。

→見守り研修としては、取り扱い難しい内容。

・交通安全

高齢者の交通事故防止や、自転車の規制強化に関する啓発。

・防災

近年の水害被害を踏まえ、避難時におけるひとり暮らし高齢者の見守りと警察・消防との連携。

→来年度に向けて、消防との連携を確認する。

・健康管理

夏場の熱中症対策や冬場の健康チェックなど、見守る側・見守られる側双方に必要な知識。

→包括支援センターの専門職による講和が可能かを確認する。

②ひとり暮らし高齢者見守りの現状と課題

・困難事例の共有

身内がおらず、緊急連絡先の提供や自治会への加入を拒否する高齢者への対応が大きな課題である。

本人が「亡くなった時はしょうがない」と拒絶する場合でも、近隣住民による「声かけ」や「異変への気づき」などのゆるやかな見守り体制が不可欠である。

- ・地域での取り組み

民生委員や自治会が協力し、避難行動要支援者やひとり暮らし高齢者をマーキングしたマップを作成し、個別訪問や安否確認を行っている事例が報告された。

③その他

- ・地域資源マップ「ふくつなぎ帳」と成年後見制度の啓発チラシについて周知を行った。

○まとめ

今年度の研修会は「特殊詐欺と防犯」をメインテーマとして詳細を詰め、次年度以降に向けて「防災」や「健康管理」の視点も消防等と連携して検討していくことを確認し、散会した。